

醍醐中山団地 陶灯路

活動場所：山科区、伏見区醍醐中山団地

活動時期：平成 25 年 4 月～

発表団体

京都橘大学現代ビジネス学会
まちづくり研究会



連携メンバー

京都橘大学まちづくり研究会
醍醐中山団地町内会
清水焼団地協同組合

活動内容

日本の伝統工芸『清水焼』を生産している山科区清水焼団地では、次世代の担い手不足が深刻な問題となっている。一方、伏見区醍醐中山団地では、住民同士の交流が減少しており、特に子どものいる世帯は地域活動に参加している人が少ない。そこで京都橘大学現代ビジネス学会まちづくり研究会は「醍醐中山団地 陶灯路」をはじめとした陶灯路のイベントを開催し、地元の方々に京都の伝統工芸に触れてもらうことで「清水焼の発信・認知向上」と「地域交流の促進」の双方を目標に活動している。また、地元の子どもたちが伝統文化に触れられる機会として、ワークショップを開催し、陶器作りの体験を通じて伝統文化を学んでもらっている。

「醍醐中山団地 陶灯路」の当日には、子どもたちが作った陶器を置くことにより、子どもたちとその家族に参加いただけるきっかけになり、醍醐中山団地に地域交流の場が生まれている。

取組の成果・活動で工夫した点

学生と町内会、それぞれの役割を明確にし、定期的に会議を行い、デザインや行程などに、町内会と学生、両方の意見を取り入れる企画運営に努めた。

清水焼のワークショップでは、事前に学生が清水焼協同組合の方に指導していただき、ワークショップ当日には学生が中心となり絵付けを地域の方に教えることにより、伝統に触れる機会と地域交流の輪を広げることができた。

連携メンバー・役割

京都橘大学まちづくり研究会	イベントの企画・運営
醍醐中山団地町内会	活動場所の提供
清水焼団地協同組合	陶器の提供、絵付け指導

今後の課題・目標

◆今後の課題

醍醐中山団地の地域交流は今回の清水焼ワークショップなどを通じて増えたものの、まだまだ一時的な交流に留まっているため、活動を継続することにより、交流を永続的なものにしていく必要がある。そのためには、現在、陶灯路の経験が豊富な京都橘大学生が中心となって運営しているが、今後は町内会の皆さんにも運営に参加していただき、将来的には学生がいなくても陶灯路のイベントを開催できるような体制を構築していく必要がある。

◆目標

これまで以上に町内会と学生が協働で企画・運営をするような体制を構築することにより、新たな地域住民の交流を促進させることが目標である。また、地域住民がいつでも気軽に参加することができる企画・環境づくりに努める。

町内会と学生が、互いに協力しながら、地域全体で住みやすい環境づくりを進めたい。

